

BBC が報じたプラスチックバックによる海洋汚染の実態

昨日、ロンドン便り その78 「英国イングランド地域でのプラスチックバックの有料化」を送信しましたが、その夜の BBC のプラスチックバック有料化のニュースの中で、プラスチックによる海洋汚染の実態が詳細に報じられていました。

内容は、英国のプリマス海洋研究所とエクスター大学との共同の海洋調査の様で、海洋に投棄されたプラスチックバックが最終的には潮の満ち引きや流れによって、マイクロ単位までに分解された結果、食物連鎖の出発点であるプランクトンがそれらを吸い込む状況の映像が見事に撮られていました。結局、プランクトンは魚に食べられ人間の体に取り込めるわけで、エクスター大学の研究者は「普通の人食べる1年間の魚の量から11,000個のプラスチックのマイクロ単位の物質が魚と一緒に体内に取り込まれていると推察される」と語っていました。ニュースの出始めは、海辺の鳥や海ガメ等の様々な生物がプラスチック製品の被害にあっている生々しい映像が現れ、強烈なインパクトでした。

ニュースの映像をご紹介したいのですが、BBC ニュースの映像を日本で見るには多分有料の契約が必要と思われます。こちらの映像からの6枚の静止画を掲載します。尚参考までに本 BBC ニュースの URL を下記しますので見れるかどうか試しにクリックしてみてください。

<http://www.bbc.co.uk/news/science-environment-34415464>



バックを飲み込もうと難儀しているアザラシ



バックを被った鳥



プラスチックのフックが引っかかった鳥



バックを食べようとしている海ガメ



プランクトンの体には蓄積された蛍光体を含んだマイクロ単位のプラスチック片



ゴミと一緒に漂うプラスチック類

(写真はすべて BBC News Home Page より)